

株式会社ウィルズ

FY2020/3Q 決算説明資料

2020/11/13

FY2020/3Q エグゼクティブ・サマリー

1 売上高は前年同期比、期初計画を超過達成

売上高は前年同期比**136.8%**、期初計画比**120.2%**で推移。

2 各段階利益は全て前年同期比、期初計画を上回って着地

- ・ 営業利益は前年同期比**141.3%**、期初計画比**142.3%**で推移。
- ・ 当期純利益は前年同期比**142.5%**、期初計画比**146.6%**の着地。

3 プレミアム優待倶楽部が45.4%増で成長を牽引

顧客数の増加及び1社あたりのポイント売上の増加が寄与。

4 通期計画進捗率は売上高、営業利益ともに順調に推移

- ・ 3Q売上高進捗率の計画値**66.8%**に対し**80.4%**で推移。
- ・ 3Q営業利益進捗率の計画値**67.3%**に対し**95.7%**で推移。

5 2020年10月1日付でネットマイルを完全子会社化

4Qから連結予定であるネットマイル社の買収影響の精査中のため、通期業績予想は、期初計画を据え置き。

現時点における新型コロナウイルスによる影響

1 通期業績への影響

コロナ禍による業績懸念を背景とした株主優待制度廃止の影響の他、ネットマイル社の買収影響を見極める為、通期業績見通しは据え置き。

2 営業活動への影響

- ・下期以降、営業活動は正常化しており、コロナ禍による業績懸念が少ない企業からの需要は引き続き旺盛な状況。成約スピードは、上期に一時的に鈍化するも徐々に回復する見通し。

3 販管費のコントロール

- ・一時的に不急の採用計画を凍結し、今期の販管費を抑制。
- ・成長分野への投資は継続。来期にわたりシステム開発への投資を継続。

4 新たな収益機会の創出

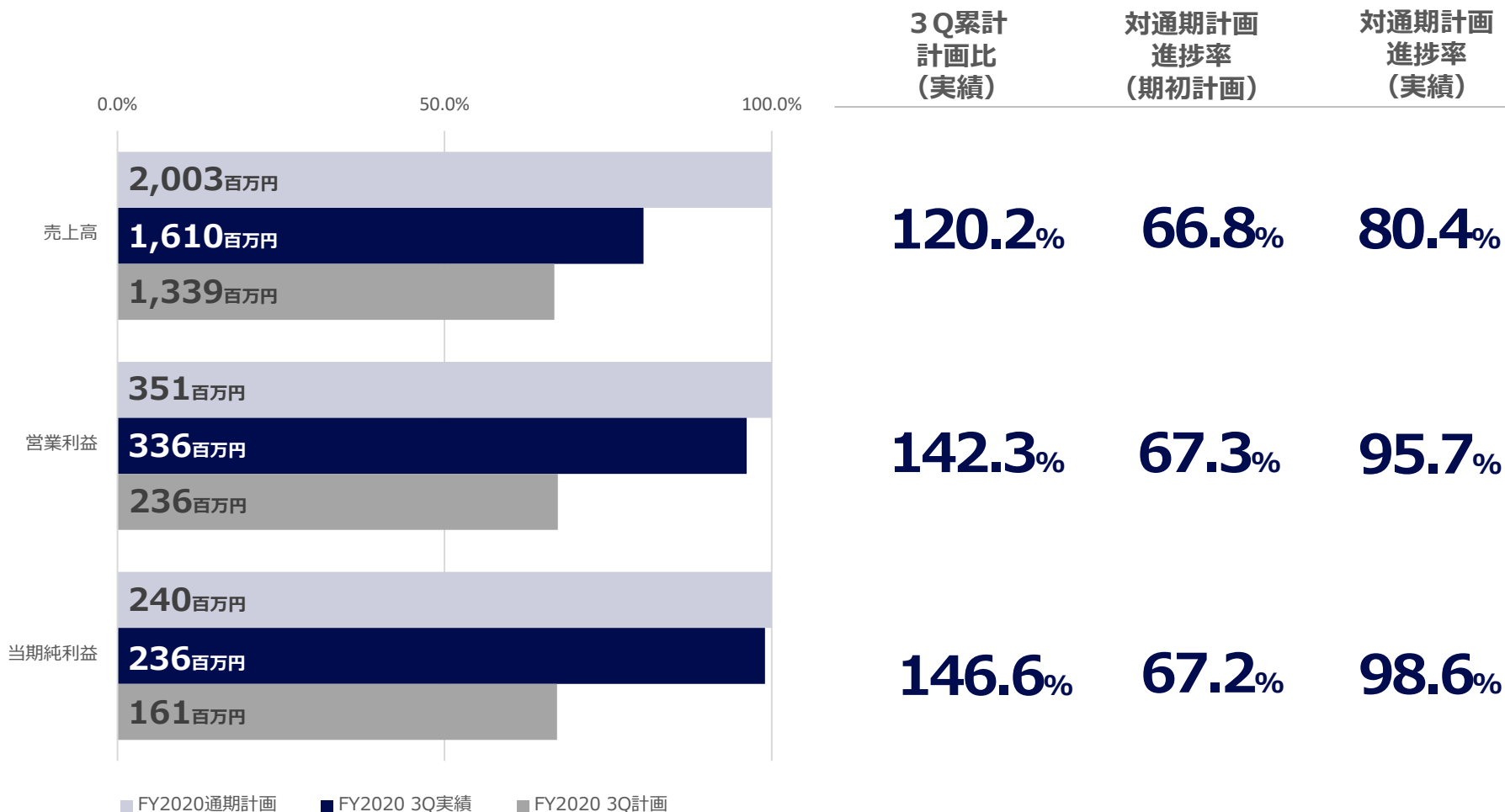
- ・デジタルトランスフォーメーション(DX化)の流れを受け、株主管理のオンライン決算説明会、バーチャル株主総会の引き合いが旺盛。7-9月期で9社にサービス提供（累計23社）。
- ・ネットマイル社との協業(ポイント連携、商品開発)に着手。

売上高は前年同期比で136.8%

売上高、各段階利益ともに期初計画を上回って着地

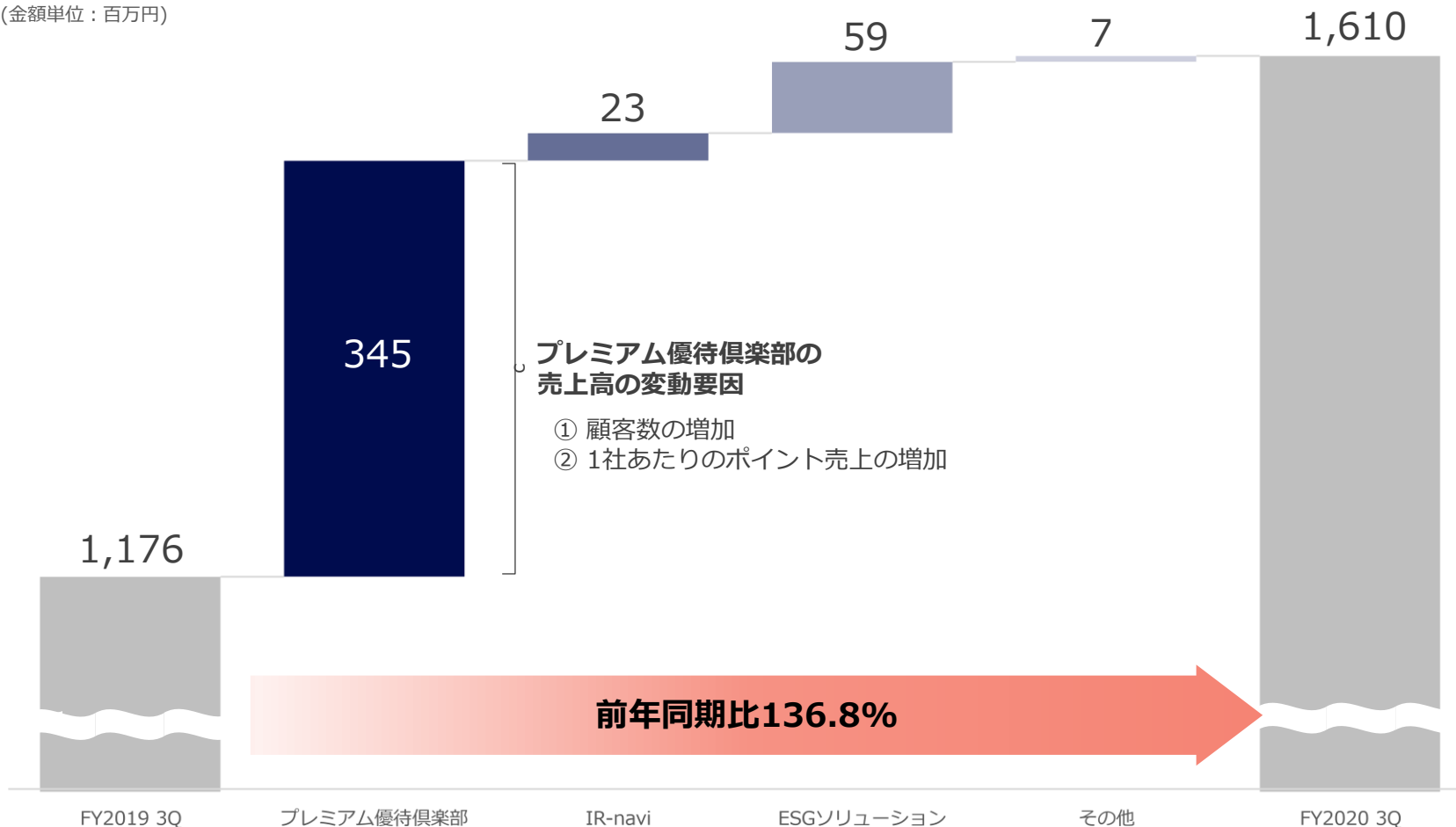
(金額単位：百万円)	FY2019実績（累計）		FY2020計画		FY2020実績（累計）			前期比較／計画比較	
	3Q	通期	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	計画比	前年同期比
売上高	1,176	1,793	1,339	2,003	445	1,003	1,610	120.2%	136.9%
売上原価	606	957	711	1,104	238	530	874	123.0%	144.3%
売上総利益	570	835	628	898	206	472	735	117.0%	129.0%
販売費及び一般管理費	331	524	391	546	132	263	398	101.8%	120.1%
営業利益	238	310	236	351	73	209	336	142.3%	141.3%
(営業利益率)	19.3%	17.3%	17.6%	17.6%	16.6%	20.8%	20.9%	—	—
経常利益	243	309	236	351	73	209	338	143.4%	139.2%
純利益	166	201	161	240	51	146	236	146.6%	142.5%

FY2020 3Q売上高進捗率66.8%の期初計画に対し80.4%の進捗 営業利益進捗率67.3%の期初計画に対し95.7%を達成



3Qもプレミアム優待倶楽部が全体の成長を牽引 IR-navi・ESGソリューションとともに堅調に推移

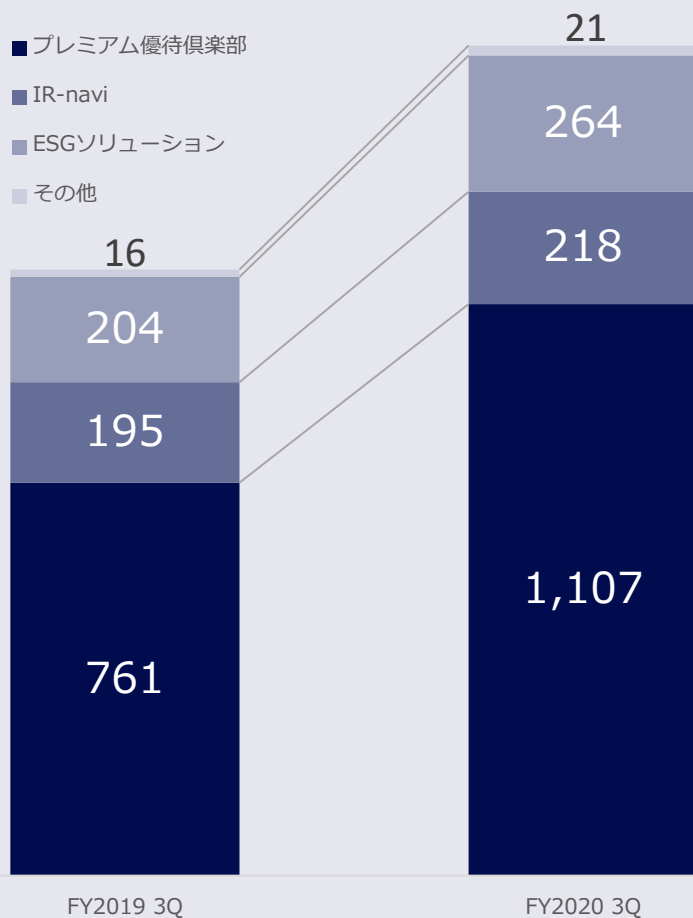
(金額単位：百万円)



プレミアム優待倶楽部の売上高が45.4%増

IR-naviは11.8%、ESGソリューションは29.2%の成長

(金額単位：百万円)



プレミアム優待倶楽部

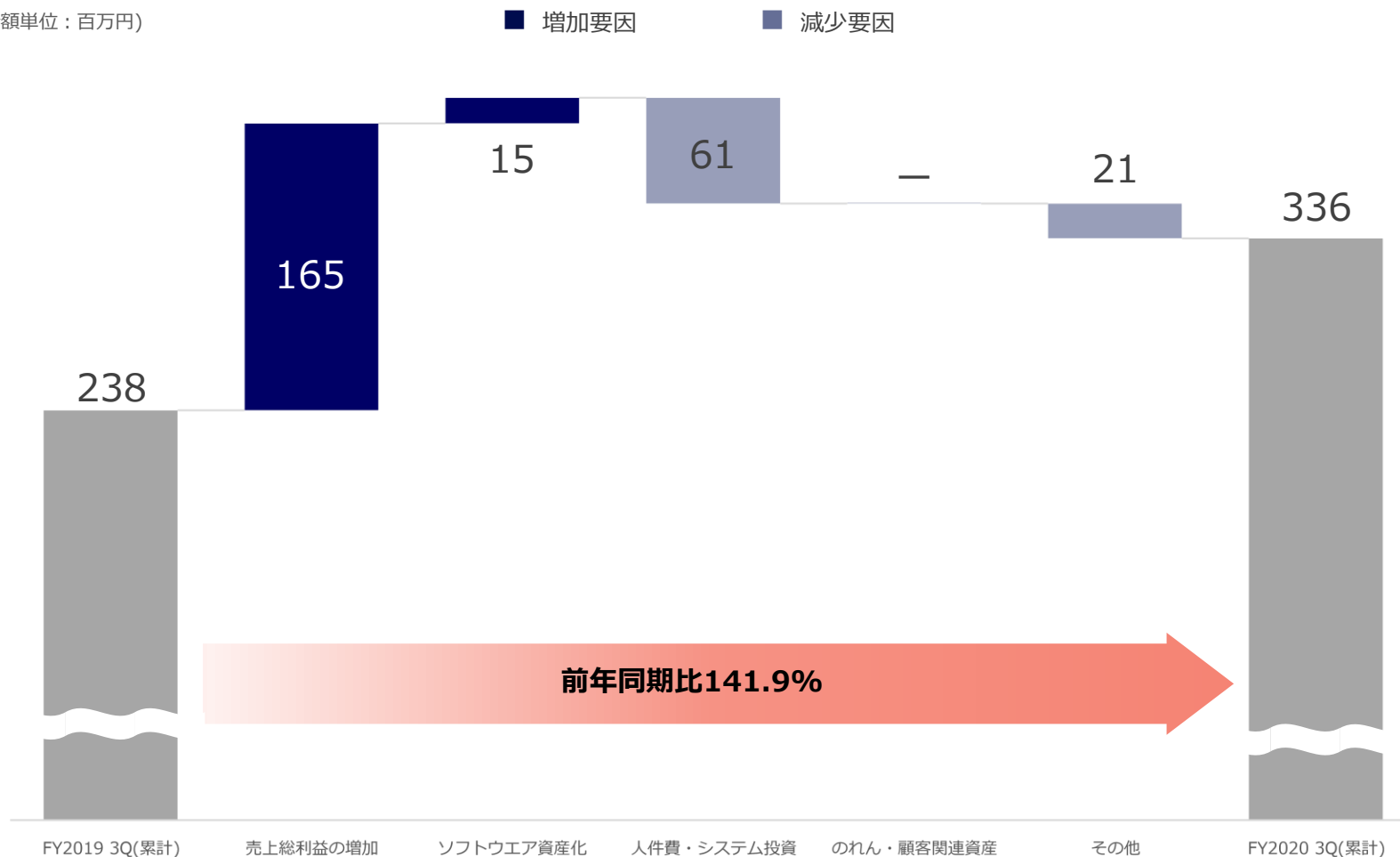
+45.4%

プレミアム優待倶楽部の売上高には、ポイント売上高、システム利用料、案内ハガキ、コールセンター、WILLsCoinの交換手数料等の売上が含まれております。

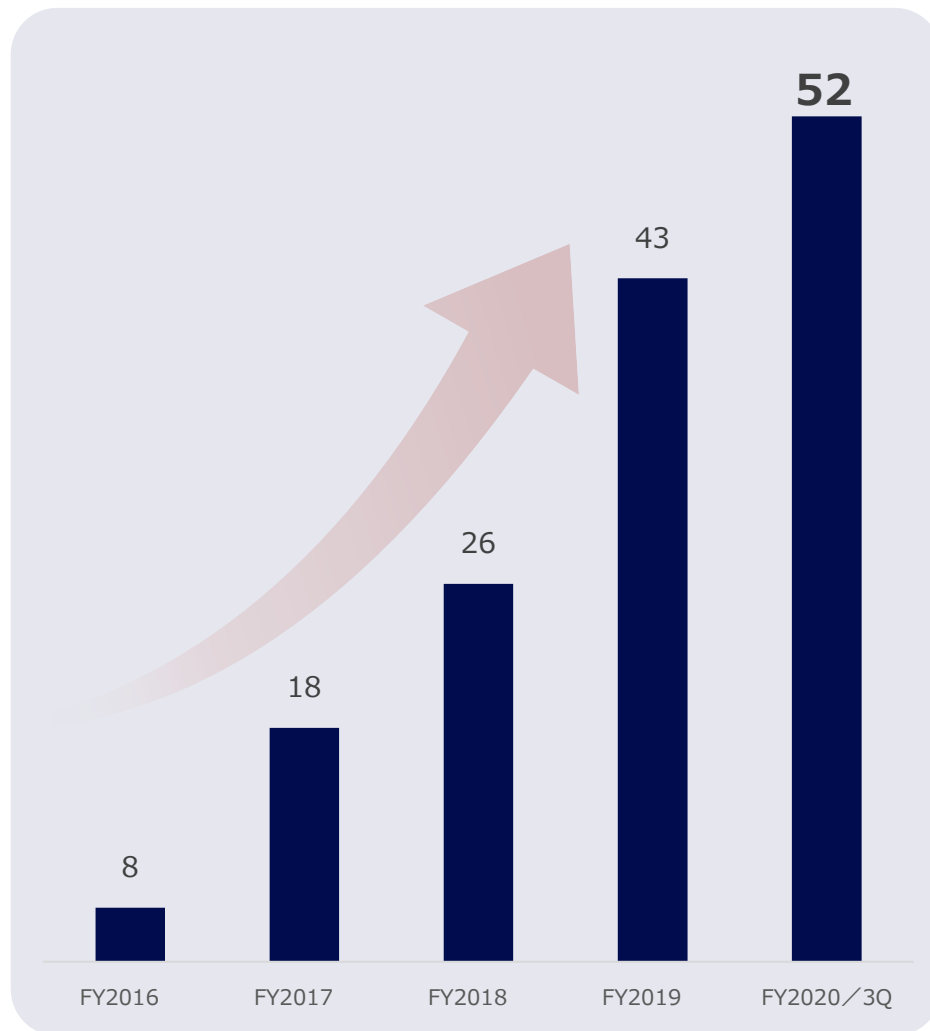
営業利益は、前年同期比141.3%の成長

人件費増・システム投資以上に売上総利益が増加し、計画比増収で着地

(金額単位：百万円)



プレミアム優待倶楽部の顧客数が52社へ増加



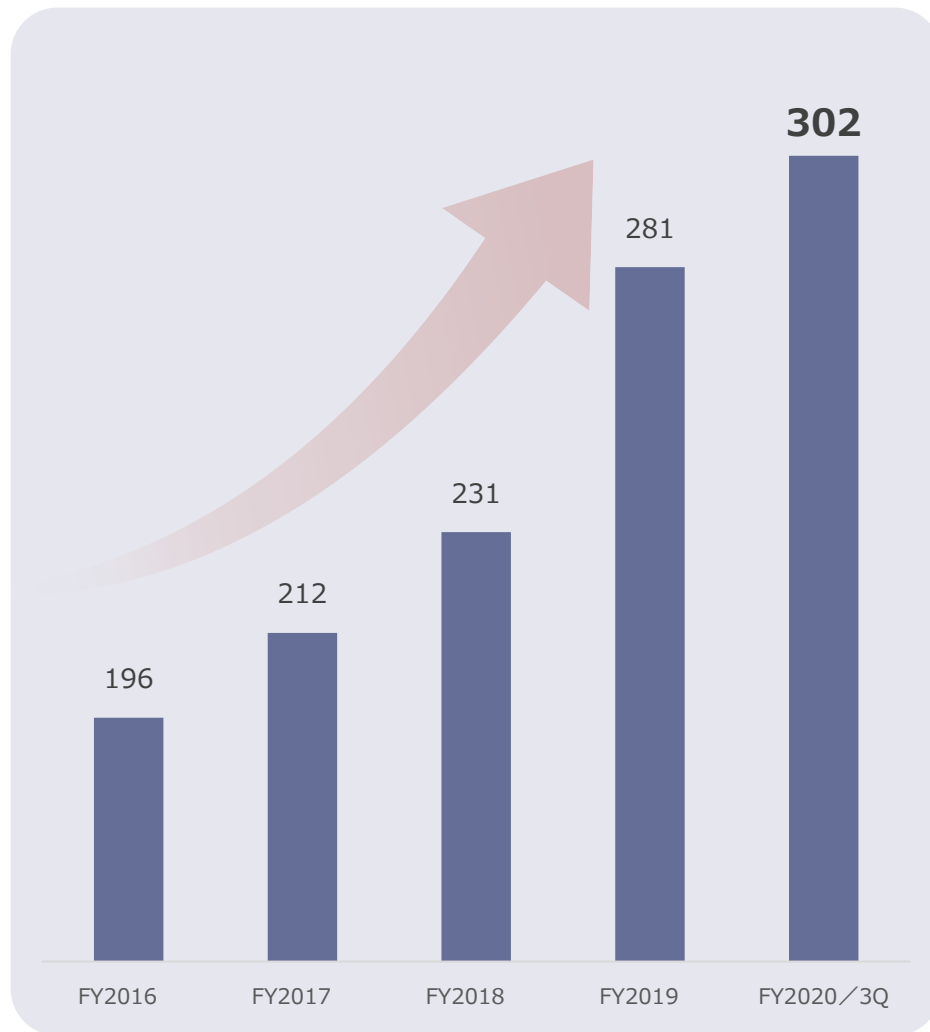
契約済み顧客数の増加
(FY2019→FY2020/3Q)

+9社(純増)

(参考)
適時開示済みの顧客数48社
(2020年11月13日時点)

プレミアム優待倶楽部の顧客数は、契約締結済みの顧客数のみカウントしております。その為、新設、廃止を含めた適時開示済みの顧客数とは異なる場合があります。

IR-naviの顧客数が302社へ増加



顧客数の増加
(FY2019→ FY2020/3Q)

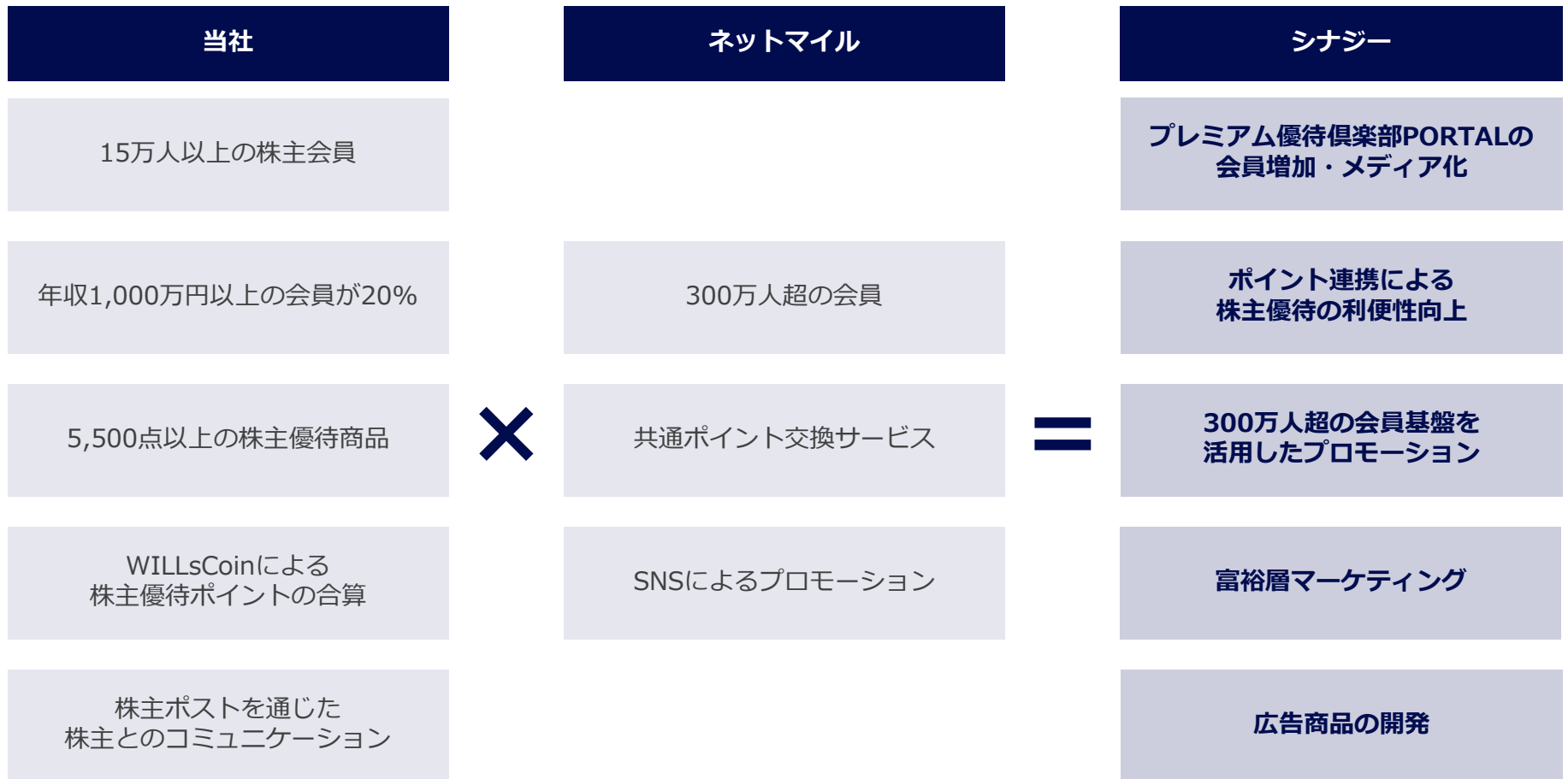
+ 21 社 (純増)

IR-naviの顧客数には、プレミアム優待倶楽部の顧客数が含まれております。IR-navi単体の顧客数は、250社です。

総資産は前期末から96百万円増の1,526百万円 純資産は前期末から213百万円増の912百万円へ増加

(金額単位: 百万円)	FY2019		FY2020			前期末との差額	前年同期比	FY2020 2Qからの主な変動要因
	3Q	通期	1Q	2Q	3Q			
流動資産	808	1,141	942	1,092	1,160	19	143.6%	—
現預金	625	788	730	809	852	63	136.2%	売掛債権の回収に伴う増加
売掛金	150	313	176	234	265	▲ 47	176.5%	
有形固定資産	9	11	11	11	11	0	120.6%	—
無形固定資産	241	252	256	260	278	25	115.4%	システム開発によるソフトウェア資産の増加
総資産	1,093	1,430	1,233	1,442	1,526	96	139.6%	—
流動負債	374	592	397	496	496	▲ 96	132.5%	—
買掛金	106	223	141	195	168	▲ 54	158.6%	—
1年以内返済長期借入金	26	26	26	26	26	0	100.0%	—
未払法人税等	77	96	22	62	63	▲ 33	81.9%	—
前受金	110	116	107	151	157	40	142.8%	システム利用料等
固定負債	143	138	130	124	117	▲ 20	81.8%	借入金の返済
株主資本	574	698	703	821	911	213	158.7%	利益剰余金の増加
純資産	575	698	704	822	912	213	158.6%	—

両社の経営リソースを最大限に活用し、 株主優待の利便性向上と新たな収益モデル創出を目指す



- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っている今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

